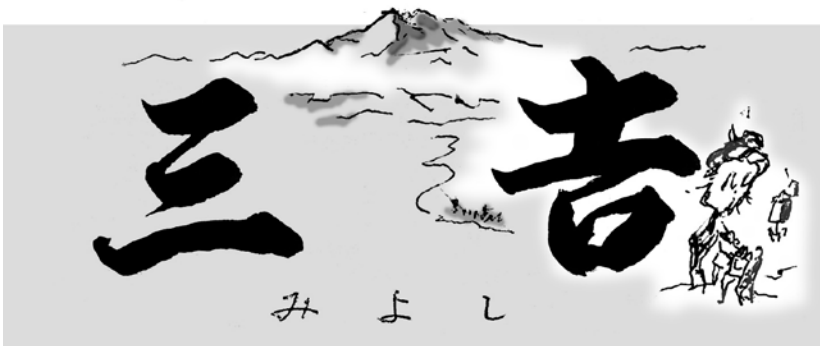




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

裏千家献茶式（千宗室宗匠ご奉仕）

確かに梅雨は鬱陶^{うつとう}しい。それでも恵みの雨を多くもたらすこの時季がなければ、生活・工業用水は不足し、農作物の生育にも支障を来す。生態系や天候にも致命的な打撃を与えるだろう。▽降りすぎも困りものだが、降らな過ぎてもダメ。実に紙一重のバランスの中で、私たちは生かされている。▽昨今の異常気象は、我々人間が、便利さ快適さや規模を追いつめ過ぎた結果、その調和を乱した代償とも言えよう。しかし先進国に暮らす私たちが、昔の不自由な生活環境へ逆戻り出来るはずもない。何とも、もどかしいジレンマだ。▽ハイブリット・EV車も誕生して車の燃費は格段に向上、LED照明で消費電力も大幅に改善……。課題解決に向けて、科学技術は日進月歩を重ねている。▽その進捗に大いに期待はするものの、結局のところ我々は、人智を超えた自然の大いなる営みの掌中にある事実は変わらない。そして残念ながら、今話題の生成AIが人類を救うこともない。▽せめて、お天道様に手を合わせてきた先人達の、純粋な畏怖の念を受け継ぎながら、これからも何とか生かされていきたいと思う。

宮司 田村 泰教

言挙げ 85

新たな旅立ち



新たな
ご縁によ
り、十九
年間ご奉
仕した太

平山三吉神社を離れ、九州熊本
の地で夫となる人と新生活を送
ることにしました。國學院大學
在学中に奉職が決まり、初めて
秋田の地を訪れたのが大学四年
生の冬でした。東京駅を出発し
た新幹線は盛岡駅を過ぎた辺り
から速度が緩やかになり、外の
景色は都会の風景から自然豊か
な光景が広がっていました。生
まれ育った生活環境と大きく異
なる景色に今後の生活への不安
を覚えました。秋田駅到着直前
に住宅街が見えてきてほっとし
ました。その後大学を卒業し、三
月下旬に秋田に引越しました。新
居となるアパート付近のスパー
マーマーの駐車場の片隅には除

権欄宜 和田 恵梨子

雪した大きな雪の塊があり、
改めて北国の地へ来たという
実感をえました。

奉職後は神職としての祭典
のご奉仕だけではなく、太平
山三吉神社に携わる多くの
方々と出会い、様々な経験を
させて頂きました。春秋の例
祭では県内在住者をはじめ、
全国からご参拝に來られた皆
さんとお会いして、懇親会の
席で近況をお伺いするのが楽
しみでした。地元講社の皆さ
んとの日帰り旅行では一日添
乗員となり、県内の様々なお
宮や観光地を地元の皆さんと
一緒に各地を訪問する事がで
きました。一泊二日の山ガ
ール登山では参加者の皆さん
と一緒に登山をし、夕食の懇
親会では参加者の皆さんと大
いに盛り上がりました。年末
年始は主に高校生から大学生
の巫女さん方と一緒に繁忙期
のお正月を乗り切りました。毎

年ご奉仕に來てくれた経験者
の巫女さんの成長を見るのも
楽しみであり、励みになりま
した。山の協力会の皆さんと
は登山だけではなく、毎年春
と秋に草刈りや花植えなどの
境内整備作業を行いました。
参加者の中にはご自宅のお花
を持ってきて下さる方もおり、
境内がとても明るくなりました。
中学生の職場体験では学
生さんが一生懸命奉仕してい
る姿に元気を貰いました。

改めて今までの十九年を振
り返ってみると様々な思い出
が蘇ります。太平山登山のよ
うに、急な上り坂が続くよう
な気を張る時期もありました
が、今となっては遠い記憶の
彼方の出来事になりました。
秋田の地に奉職の御縁を頂い
たこと、大神様の御守護を頂
き多くの経験をえたこと、そ
して年齢、業種も様々な多く
の皆様に出会えたことは私の
人生の掛け替えのない財産で
す。奉職を志したその瞬間か
ら新しい道が開けたことに感
謝するとともに、次の九州の
地で豊かな人間関係が築けま
すよう、一日一日を大事に過
ごして行きたいと思えます。

今後も時折ご奉仕に参ります
ので、その際はお声がけいた
だけると幸いです。これから
も皆様お身体に気を付けてお
過ごしください。今まで本当
にありがとうございました。



園児お茶会



山頂奥宮竣功祭

地元シリーズ

私と三吉神社と二十四年間

神 林 沙 紀

(巫女奉仕者)



六年間
の大学生
活を終え、
現在は新
米医療従

事者として、秋田市内の病院に勤務し研鑽を積んでいきます。アパートで一人暮らしを始めた私の朝は、目覚まし時計のアラームから始まりです。その時計には、剥がれかけたシールに『第21回太平山三吉神社写生大会』と書いてあります。十八年経ついまも現役で時を刻む、子どものころの思い出の品です。

自宅から最も近かったため、小さい頃から神社といえは三吉さんでした。物心つく前からお参りに行く機会があったと思うのですが、自分に残る最も古く鮮やかな記憶は小学校一年生の夏、写生大会です。母の勧めで二学年下

の弟と共に参加し、神社の敷地をぐるりと一周して絵の題材を決めます。私たちが腰を下ろしたのは、本殿を正面に迎える玉砂利の上でした。意気揚々と描き始めたものの、描いても描いても仕上がらず、気づけば陽は傾いて他の参加者の姿はまばらに。それでもめげずに少しずつ筆を進め、ようやく描き終えた時には思わず息をつきました。その時の達成感と疲労を今でも覚えています。子どもながらも、こんなにも細やかで複雑だったのかと、本殿の緻密で精巧な造りに舌を巻いたものでした。

時を経て、高校三年生になった私は、志望校合格を目指して勉強に励んでいました。家族も応援してくれて、サクラ咲く春を願う日々でした。試験本番が近づくと、母

は「最後は神頼み」と言って風の日も雪の日も三吉さんに参拝し、合格を祈願してくれました。母の思いと三吉霊神さまのご加護もあって合格をいただくことができた時は本当に嬉しく、万物に感謝する思いでした。後日お礼参りをしようということになり、登山が趣味の両親と一緒に太平山に登りました。まだ雪深い二月で、奥宮に参拝することは叶いませんでした。が、女人堂から眺める景色に格別の思いが込み上げました。

数年後、大学三年生になった私は、ご縁があり三吉神社で巫女奉仕をさせていただくことになりました。それまで度々訪れていた神社ですが、その内側で奉仕させていたただくのはとても新鮮でした。職員の方々はとても優しく、巫女としてのお作法や礼儀を教えてくださいました。いつしか私にとって、神社で過ごす時間が心落ちつく、唯一無二のものになりました。緑に囲まれた境内に吹く爽やかな風、玉砂利を踏み締める音、辺りにほんのりと漂う金木犀

の香り、静かな夕暮れに溶け込む繊細な雅楽の音色……。どれも特別な思い出です。また、神社を訪れる人は様々な思いを持っており、特にご家族やご友人の病氣平癒祈願に訪れる人の多さには胸を打たれました。一医療従事者として、その思いを忘れてはならないと思っております。

四年間巫女奉仕という貴重な経験をさせていただき、心から感謝しております。これまでもこれからも、三吉神社は大事な時にそと背中を押してくださるありがたい存在です。末筆ながら、今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。



家族写真

裏千家献茶式

裏千家淡交会「東北のつどい」秋田市開催に際し、千宗室宗匠様による献茶式が五月二十五日（土）に当社で行われました。

お家元の凛とした立居振舞いに参列者一同大変感銘を受けておりました。



豪雨による大規模被災

太平山現状報告

昨年七月の記録的な豪雨により、登山口までの林道と各登山道に大きな被害を受けた太平山の現状報告をいたします。

山頂奥宮・参籠所について

主要登山道である旭又口が使用できず、上級者以外の登拝は困難なため、今夏は開所いたしません。祈祷等につきましては、里宮で承ります。

各登山道について

【旭又登山口】

登山口に至るまでの林道は現在通行止めになっております。

秋田森林管理署様によりまして、仁別森林博物館までの工事に今年から着手されるとのこと。但し、博物館から旭又口駐車場までの間は、特に被害が甚大であるため、復旧まで時間を要すると思われます。

【野田口】

古くからの表登山道である野田口も昨年の豪雨で入口から川沿いの道は使用できません。

【前岳口】

但し、鳥居右側からの迂回路がありますので、沢を何度かわたる必要がありますが、山頂まで登山することは可能です。（上級者向け）

【丸舞口】

橋が四ヶ所壊れております。（明年二ヶ所補修予定）

旭又登山道が復旧するまでには、まだ年数を要する厳しい状況にございますが、太平山の永く続く歴史や伝統・信仰が途絶えることのないよう、関係各機関のお力を頂きながら、最大限の努力を続けて参ります。

何卒、引続きお力添えとご崇敬の程、切にお願い申し上げます。
（宮司 田村泰教）



野田口草刈り作業

● みよしスケッチ ●



春季例大祭
(五月七日・八日)



協力会境内整備作業
(四月十日)



協力会総会
(四月十三日)



秋田食と芸能大祭典
(五月二十六日)



札幌三吉神社例大祭
(五月十日)



大山文化財を愛する会参拝
(六月十日)



野田口登山道整備
(六月一日)

第39回

太平山写生会

令和6年7月6日(土)午前9時神社集合(雨天開催)。

主 催 太平山写生会実行委員会
 後 援 太平山三吉神社総本宮
 参加申込 当日若しくは事前応募 (6/20~7/5)
 参加対象 幼児、小・中学生、保護者
 写生対象 太平山及び神社建物、境内からの風景など
 様 式 水彩、クレヨン、パステルなど自由
 審 査 市内小・中学校の先生
 表彰式 8月18日(日)午前9時
 於：太平山三吉神社齋館
 入賞者に賞状と副賞を授与

皆様のご参加をお待ちしております！

協賛予定 秋田魁新報社・秋田中央郵便局・
 東日本電信電話(株)秋田支店・秋田銀行広面支店・
 北都銀行秋田東支店・秋田信用金庫広面支店・
 秋田県信用組合東支店・株式会社マルシン・
 一ノ関時計店・花のヤマト・株式会社べんてる・
 (術)木曾塗装・汎山書道教室(順不同)
 展示予定 秋田中央郵便局・秋田銀行広面支店・
 秋田県信用組合東支店・北都銀行秋田東支店・
 秋田信用金庫広面支店

令和6年 下半期主な神事予定

10月1日(火)	午前10時	印 章 供 養 祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人 形 感 謝 祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事 (人形は9月20日よりお預かりします)
10月16日(水)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	神様の御加護と自然の恵みに感謝する例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(木)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
11月23日(土)	午前9時	新 嘗 祭	五穀の収穫に感謝する祭事
12月13日(金)	午前10時	煤 払 い 式	新年を清々しく迎えるために、境内建物のすずを払う恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札・お守りをお祓いする神事
12月31日(火)	午後2時	師 走 の 大 祓 式	1年の罪・穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。

※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



煤払い式



師走の大祓式